

特集「E-Service and Knowledge Management toward Smart Computing Society」の編集にあたって

峯 恒憲^{1,a)}

人を中心にとらえ、人に優しい、人の暮らしを豊かにするスマート社会構想の実現に向けた多くの試みが活発になされている。特に、人の暮らしの中で起こる、様々で膨大な人々の行動・操作等のデータに焦点を当て、これらをイノベーションの創出源として用い、暮らしの豊かさを促進する新たなサービス創出に注目が集まっている。

本特集号では、これらを背景として、スマート社会で求められるeサービス技術、サービス創出技術、サービス創出に必要な知識のマネジメント技術、スマート社会に求められる情報基盤技術等に焦点を当て、これらの研究成果を求めるべく、関連する国際学会における発表論文だけでなく、広く一般からも、和英両方の論文を募集した。

特集号編集委員会の構成にあたってはESKM2014およびICSCAI2014のプログラム委員を中心に13名の編集委員を選任した。論文募集に対して31編の投稿があり、それぞれの内容の専門性に照らしてメタレビューを選任した。厳正なる査読の結果、15件（うち英語論文7件）を採択した。内訳は以下のとおりである。

ネットワーク・インターネット応用 2
知能と認知 3
言語メディア処理と情報コンテンツ 3
視覚情報メディア処理 2
インタラクション 2
情報と人文・社会科学 3

スマート社会で求められるサービス創出に必要な工学的技術の募集どおり、採択論文も人工知能系を中心に多岐にわたっていた。また、著者の所属に関しては産業界から学术界まで幅広い投稿があったことも、本特集が多くの方の強い関心を得ていることの現れと考え、今後も同様な特集を企画して行きたいと考えている。

本特集の編集にあたっては、多くの方々からのご支援を頂戴した。年度末の忙しい時期に、本特集での査読をお願いし、厳しいスケジュールにもかかわらず、積極的にご協力をいただいたことは感謝に耐えない。この場を借りて、

厚く御礼を申し上げる。

「E-Service and Knowledge Management toward Smart Computing Society」特集号編集委員会

- 編集長
峯 恒憲（九州大学）
- 幹事
藤田 桂英（東京農工大学）
- 編集委員
福田 直樹（静岡大学）
松尾 徳朗（産業技術大学院大学）
栗原 聡（電気通信大学）
八槇 博史（東京電機大学）
廣川佐千男（九州大学）
大須賀昭彦（電気通信大学）
菅原 俊治（早稲田大学）
小野 雄一（筑波大学）
石井 直宏（愛知工業大学）
Antoine Bossard（神奈川大学）
橋本喜代太（Asian University）

¹ 九州大学
Kyushu University, Fukuoka 819-0395, Japan

^{a)} mine@ait.kyushu-ac.jp